

(18)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-70057

(43)公開日 平成5年(1993)3月23日

(51)Int.Cl.⁸
B 66 B 7/06
11/08識別記号 庁内整理番号
B 6573-3F
A 6573-3F
K 6573-3F

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全3頁)

(21)出願番号 特願平3-262534

(22)出願日 平成3年(1991)8月17日

(71)出願人 000232955

株式会社日立ビルシステムサービス
東京都千代田区神田錦町1丁目8番地

(72)発明者 大野 和重

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 株
式会社日立ビルシステムサービス内

(72)発明者 松野 良久

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 株
式会社日立ビルシステムサービス内

(74)代理人 弁理士 武 順次郎 (外1名)

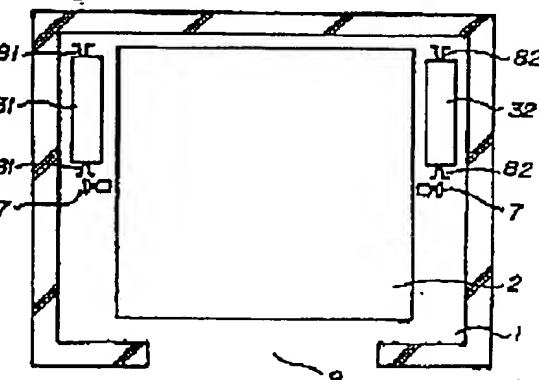
(54)【発明の名称】 エレベータ装置

(57)【要約】

【目的】 昇降路面積に対してかごの床面積を大きくする。

【構成】 つり合いおもり31、32が2個設けられ、かつガイドレール7に隣接して、かご2とつり合いおもり31を結ぶ主ロープ61、62にはシープ4Aが係合し、他方つり合いおもり32とを結ぶ主ロープ63、64にはシープ5Aが係合し、かつシープ4Aとシープ5Aとは互いの回転軸が交差する。

【図1】



示す平面図である。

【図3】シープと主ロープとの鉛直面内の位置関係を示す図である。

【図4】従来の昇降路の水平断面図である。

【符号の説明】

1 昇降路

2 かご

* 3 (31, 32) つり合いおもり

4, 5 卷上機

4A, 5A シープ

6 (61, 62, 63, 64) 主ロープ

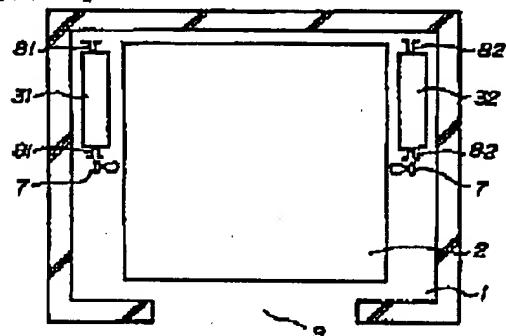
7 ガイドレール

8 (81, 82) ガイドレール

* 9 乗場

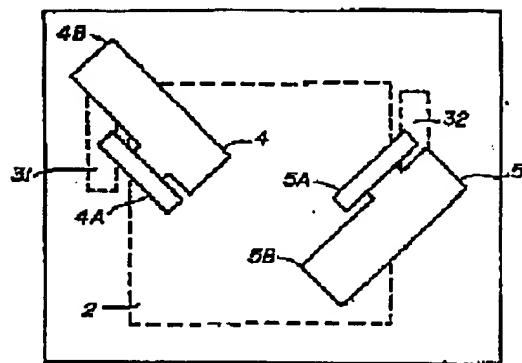
【図1】

【図1】



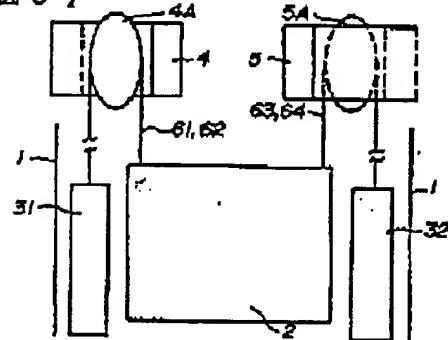
【図2】

【図2】



【図3】

【図3】



【図4】

【図4】

